



## 特徴 2) 彼は冠を与えられ

新約聖書で冠は 2 種類あります。1 つは王様の冠。ギリシア語ではダイアデム。もう 1 つは、競技の勝利者に与えられる栄冠。ギリシア語でステファノス。

もし白い馬に乗った人物がキリストなら、その冠はダイアデムになるはずですが。聖書には「イエス・キリストこそ王の王、主の主」と書いてあるからです。

ところが、ここに出て来る人物に与えられる冠はステファノス。彼はキリストではありません。獣とか不法の人と呼ばれている反キリスト。全人類を未曾有の不幸のどん底に落とし込む恐るべき男。しかし、反キリストは勝利者の冠を受けて登場する。やがて世界中の人々を不幸のどん底に引きずり込む人物ですが、登場する時は実に平和的・魅力的・大成功者として登場するのです。

ずいぶん昔の話ですが、大量の覚醒剤を日本国内に持ち込む運び屋として長い間活動していた人物が ようやくつかまった、というニュースを見たことがあります。あまりにも上手く行くので、とんでもない量を密輸しようとして、とうとう足が付いてしまったのです。なぜ彼は長い間 運び屋として成功したのか。バレなかったのか。

ボーイスカウトのユニフォームを着て飛行機に乗っていたんです。ボーイスカウトは、青少年の健全な育成のために社会貢献する組織ですよね。そのリーダーとして立派な働きをしているんだという格好をしたんです。服装は青少年の健全な育成に貢献している人たちの服装だけど、実際はそんなことをしていない。彼は運び屋でした。ですが、社会的に信用されるような外見をすることで、恐るべき犯罪を覆い隠していた。本性をカバーしていたのです。

## サタンでさえ光の御使いに変装するのです。(コリント人への手紙 第二 11 章 14 節)

反キリストは光の御使い、良い人に変装して登場する。

艱難時代に入る前、実際今の世界でも、ミニチュアの反キリストみたいなのがあっちこっちにいます。

例えばカルト宗教。世の中にはキリスト教会を名乗りながら実はカルト宗教。それがたくさん横行していて、皆美しい服装・美しい神殿・柔和な笑顔で美しい言葉を使って色々言うのですが、実態は信者さんたちを食べ物にする集金マシン。或いは、人間をこき使う 現代の奴隷商人みたいなことをやっていますね。中国や韓国から出て来たキリスト教系のカルト宗教が今爆発的に広がっていますので、皆さんもぜひ気をつけていただきたいと思います。

誰が見ても悪い奴だと一目で分かるナリで来たら、誰も信用しません。

一見平和的・魅力的で、素晴らしい人のように見えるからこそ、みんな引っかかるんじゃないですか？

世界の大きな問題を解決する人物として彼が出て来る。

冠を与えられるというのは、そういうことなんですね。

## 特徴 3) 勝利の上にさらに勝利を得るために出て行った

反キリストは艱難時代の前に、既に勝利者だったんですね。

誰も解決できない大問題・難題に政治的大勝利を得ることで、一躍 時の人として登場するようです。

おそらくそれは、世界的な、大きな得点になるような政治的大勝利。その成果は中東和平です。

反キリストはイスラエルと 7 年間の安全保障条約を結ぶことによってデビューする、と聖書の他の箇所にも預言されているからです。

誰も解決できなかったイスラエル問題・中東問題を、ものの見事に解決する。  
それによって、世界は彼の政治的手腕に一目置き、「この人は素晴らしい！ 彼に任せておけば問題は解決できる！」と、多くの人々の期待を一身に浴びることになる。これが勝利ですね。  
この勝利をもって、勝利の上にさらに勝利を得るために出て行った。艱難時代に飛び込んで行くのです。

では、さらに勝利とは何でしょう？ それは、この時から3年半後に起こることです。  
この時代（艱難時代がスタートした時点）、世界は10か国しかありません。  
現在は208か国あります。国連加盟以外の国々もありますから、全部合計したら208。  
しかし、やがて1つの国になり、その後10か国に割れます。

艱難時代に入った時点の10か国は、こぞって反キリストに協力します。  
しかし、7年間の艱難時代の前半3年半が過ぎ、後半3年半に差し掛かった時に、10か国のうちの3国が反キリストに謀反を起こして大戦争をかますのです。  
なぜこの3国は反キリストに敵対するのでしょうか？ それは、3年半後に反キリストが神宣言し、全人類に向かって、自らを神として礼拝することを命令し強要するからです。  
そして、自分の姿に似せた偶像に頭を下げるように強制するからです。

その偶像礼拝に、何が何でも「ノー！」と国家レベルで反対する国が3つある。  
これは、おそらくイスラム圏を抱える国々ではないかと考えています。  
具体的にどの辺りかは、これからまた順を追って説明の中で紹介すると思います。

いずれにしても、3か国は「この偶像礼拝に膝を屈することはできない！」  
それで反キリストと全面戦争になるのですが、最終的に負けて滅亡し、10か国が7か国になります。  
この7か国は3つの国を滅ぼした反キリストに心底震え上がり、自らの意思で反キリストに権力を譲り渡すのです。

これが艱難時代後半3年半のことで、前半の恐ろしさよりも後半のほうがはるかに恐ろしい。  
そこで、後半3年半を特に“大艱難時代”と呼んでいます。

さて、7つの封印時代は、前半3年半の、そのまた前半のことです。  
次回は2つ目の封印以降のことを、もうちょっとあっさりご紹介したいと思いますので、よろしければ続きをお付き合いください。

もしよろしければ、チャンネル登録もお願いします。  
ではまた このチャンネルでお目にかかりましょう。それまで皆さん、お元気でいてください。さよなら！

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。